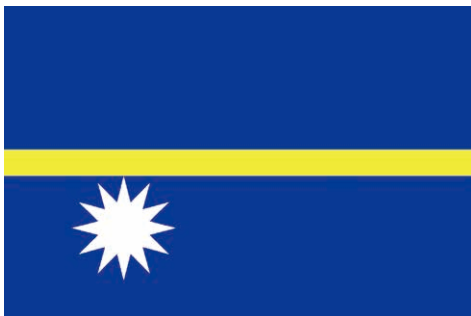


ナウル概要



オーストラリアの北東、南太平洋に位置する小さな島国ナウルは、世界最小の島国で、1968年1月31日に独立を果たしました。人口約10,000人から12,000人のこの島は母系社会であり、血筋は部族の系統を通じて受け継がれます。総面積は21平方キロメートルで、最高地点にはコマンドリッジがあり、第二次世界大戦時の日本の前哨基地の遺構が残っています。

公用語：ナウル語、英語

政体：議会制共和国

通貨：オーストラリアドル

宗教：キリスト教



©Expo 2025

ナウル共和国館



私たちの人々、私たちの故郷
Eben Bwio Deinaoero

展示コンセプト

ナウルの隠された宝：

手工芸品に見る豊かな文化遺産

太平洋の中心に位置するナウルは、豊かで多様な文化遺産を持つ小さな島国です。島の独自の歴史や地理、そして人々の暮らしがナウルの伝統工芸を育み、これらの作品は島民のたくましさと創造性を今に伝えています。2025年大阪・関西万博では、地元の素材を活かした手作りの工芸品をご紹介します。これらの作品には、ナウルの知恵と芸術性が表現されています。

パンダナスの葉で編まれたバスケット：

ナウルの伝統的なバスケットは、大地と先祖とのつながりの象徴です。

彫刻：

島の歴史や伝説を物語る、地元の木材から作られた工芸品です。

貝殻のジュエリーと装飾品：

地で採取された貝殻から作られ、島の豊かな海洋遺産と海の美しさを反映しています。

私たちの鮮やかな織物は地元の植物繊維から織られ、島の文化的アイデンティティを反映した独特の模様が特徴です。

ナウルの豊かな文化遺産の光景や音を体験してください。スタッフが、伝統文化や工芸品、生活様式について、心を込めてご紹介いたします。



高台移転計画

ナウルの高台移転計画は、海面上昇に対応するため、島民全体をより高い土地へ移住させることを目的としています。この島国では海岸の浸食が進行しており、住居やインフラ設備が危機にさらされています。この計画では、島の内陸部の高原に住宅や学校、必要不可欠なサービス施設を備えた新しいコミュニティを建設します。国際的な支援団体からの資金提供を受け、このプロジェクトはナウルの未来を守り、気候変動の影響から人々と文化を保護することを目指しています。最終的には、強靱で持続可能なコミュニティの創出を目標としています。移転は2040年までに完了する見込みです。



12の部族

ナウルの12部族は、デイボエ、エラムウィダミット、エラムウィダラ、エラムウィット、エラムグム、エアノ、エメオ、エオラル、イルツィ、イルワ、イウィ、そしてラニボクです。各部族はそれぞれ独自のトーテムと衣装のスタイルを有していました。

部族の重要性

- ・ナウルの国旗に描かれた12の尖角を持つ星は、これらの部族を表しています。
- ・8月19日の「アロエニの日」はナウルの部族の歴史を称える日となっており、毎年祝われます。
- ・子どもたちは母親側から部族を継承しました。
- ・各部族はそれぞれ独自の特徴を持っています。
- ・イウィ部族とイルスティ部族は現在絶滅しています。



ナウルで体験する独自の文化、美しい自然と郷土料理

ナウルへの旅は、他にはない特別な体験をお約束します。のどかな雰囲気と美しい自然に囲まれ、水泳やシュノーケリングに最適な美しいビーチをお楽しみいただけます。島の歴史を語る上で欠かせないリン鉱石採掘の遺跡を見学することもできます。ナウル料理は地元の食材と外国からの食材が織りなす独特の味わいが特徴で、新鮮な魚介類と一緒に、米などの主食が提供されます。ココナッツで調理した魚料理や、パパイヤ、バナナなどのトロピカルフルーツを使った料理も特徴的です。レストランの数は限られていますが、地元の味と国際色豊かな料理の両方を楽しむことができ、島の暮らしを食から知る機会となります。暑さと湿気が多い点だけは、ご訪問の際にご注意ください。



ナウルのスポーツ文化とナウル航空のご案内

ナウルのスポーツシーンは活気に満ちており、オーストラリアン・ルールズ・フットボールは国技として絶大な人気を誇り、多くの人々が熱心にプレーしています。また、ウェイトリフティングも国際的な評価を得ており、ナウル人選手たちはコモンウェルスゲームズで成功を収めています。ナウル航空は国営航空会社として、この島国への重要な空の架け橋となっています。同社はナウルと近隣の太平洋諸島、そしてオーストラリアやフィジーといった主要な目的地をつなぎ、島の住民にとって観光、貿易、交通の面で極めて重要な役割を果たしています。ナウル航空はナウルの外部との結びつきと経済発展を支える要となっています。

